



DNW-23007 の概要

課題名 : 肺炎球菌酵素 A の創薬標的としての検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

田口 厚志 (国立大学法人大阪大学産業科学研究所)

ステージ: 標的検証前期

【標的疾患】

肺炎球菌感染症

【創薬標的】

肺炎球菌酵素 A

【創薬コンセプト】

肺炎球菌の生存に不可欠な酵素 A を阻害し、細菌選択的な抗菌化合物を表現型スクリーニングによって探索し、新規の肺炎球菌感染症治療薬を創製する。

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 肺炎球菌耐性化に、酵素 A の点変異が関わっていることを見出した。
- 2) 薬剤誘導によってのみ酵素 A を発現する肺炎球菌株を作製して、酵素 A が肺炎球菌の生存に不可欠であることを検証した。

【支援ステージにおける目標】

- ・肺炎球菌酵素 A を特異的に阻害し、肺炎球菌に対する抗菌活性を持つ化合物を見出すためのアッセイ系を構築する。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。